T&D
T&D保険グループ

交付運用報告書

米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース

商品分類（追加型投信／海外／不動産投信（リート））

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」は、第143期から第148期の決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託「ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」を通じて、米国リートとオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を実質的に構築することで相対的に高い配当利回りの獲得と中長期的な信託財産の成長、およびオプション料（プレミアム）収入の獲得を目指して運用を行います。また、米ドル（対円）の為替変動とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築することで、円から米ドルへの投資成果に加え、オプション料（プレミアム）収入の獲得を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第25作成期

第143期（2024年８月20日）　第146期（2024年11月20日）
第144期（2024年９月20日）　第147期（2024年12月20日）
第145期（2024年10月21日）　第148期（2025年１月20日）

作成対象期間：2024年７月23日～2025年１月20日

第148期末（2025年１月20日）	
基準価額	971円
純資産総額	2,490百万円
第143期～第148期	
騰落率	△2.4％
分配金合計	150円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

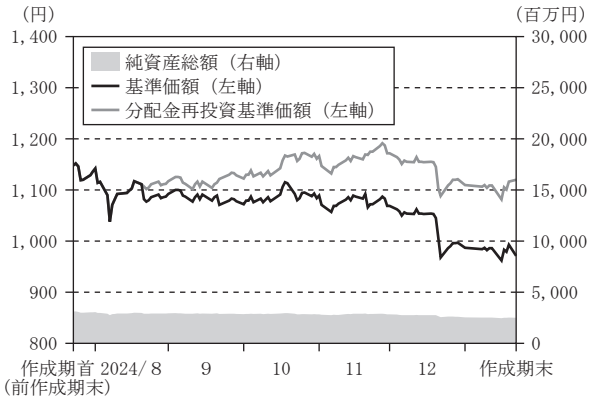
当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

＜閲覧方法＞
右記ＵＲＬ⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社
〒108－0014　東京都港区芝５－36－７
お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前９時～午後５時）
https://www.tdasset.co.jp/

運 用 経 過

基準価額等の推移



第143期首：1,148円
第148期末：971円（既払分配金150円）
騰　落　率：△2.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年７月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」において、米国リートカバードコール戦略はプラス寄与しましたが、通貨カバードコール戦略や信託報酬などのマイナス寄与が上回った結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）	△1.6%
Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド	0.0

１万口当たりの費用明細

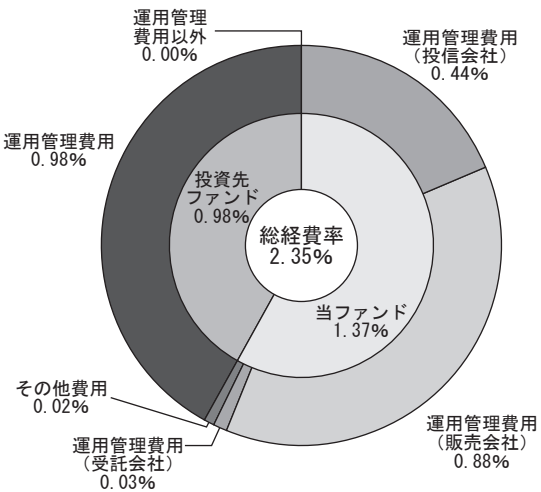
項目	第143期～第148期 2024/７/23～2025/１/20 金額	比率	項目の概要
平均基準価額	1,075円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	7円	0.675%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(2)	(0.219)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(5)	(0.439)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(0)	(0.016)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.034	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数
（投資信託証券）	(0)	(0.034)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.008	(c)その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	7	0.717	

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
（注）「比率」欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

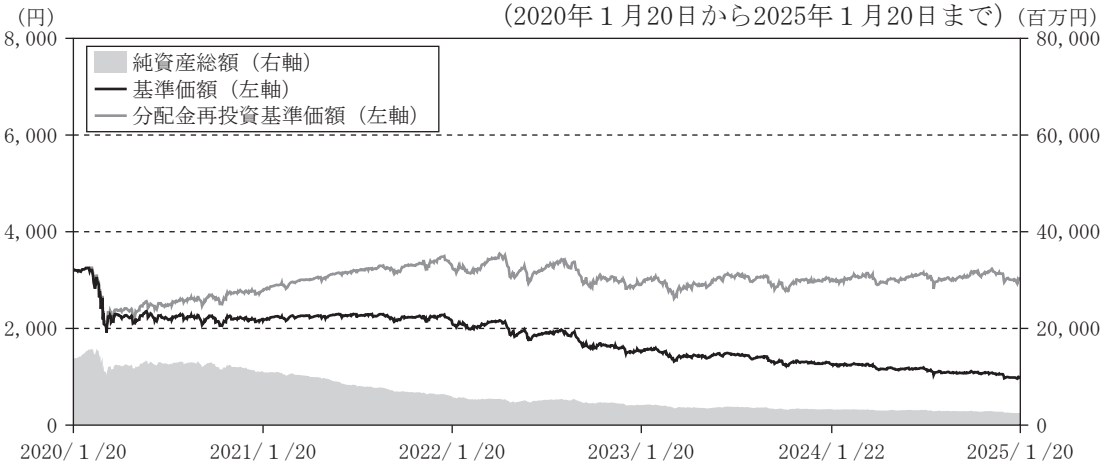
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.35%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.35%
①当ファンドの費用の比率	1.37%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.98%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
（注）①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注）分配金再投資基準価額は、2020年１月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年１月20日 期初	2021年１月20日 決算日	2022年１月20日 決算日	2023年１月20日 決算日	2024年１月22日 決算日	2025年１月20日 決算日
基準価額（分配落）　（円）	3,207	2,159	2,104	1,511	1,255	971
期間分配金合計（税込み）（円）	－	570	420	390	300	300
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	－	△　13.3	17.7	△ 11.1	3.2	1.2
純資産総額　（百万円）	13,684	10,929	5,810	4,097	3,272	2,490

（注）当ファンドは米国リートとオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

■ 米国リート市場

米国リート市場は上昇しました。作成期初から2024年９月中旬にかけては、７月の米ＣＰＩ（消費者物価指数）がインフレ鈍化を示す結果となったことや、８月の米雇用統計が市場予想を下回ったことからＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待が高まり、同市場は上昇しました。９月下旬から11月下旬にかけては、同市場はほぼ横ばいで推移しました。12月上旬から中旬にかけては、ＦＲＢがＦＯＭＣ（米連邦公開市場委員会）で利下げを決めた一方、2025年の利下げについては慎重な姿勢を示したことからリスク回避的な動きが強まり、同市場は大幅に下落しました。12月下旬は、同市場は横ばいで推移しました。2025年１月上旬は、2024年12月の米雇用統計が市場予想を上回り、利下げペースが鈍化するとの見方が広まったことから米長期金利が上昇し、同市場は下落しました。１月中旬から作成期末にかけては、2024年12月の米ＣＰＩが市場予想を下回り利下げ期待が高まったことなどから、同市場は上昇しました。

■ 為替動向

米ドルは対円で下落しました。2024年８月上旬に軟調な米雇用統計を受けて米景気後退懸念が高まり、ＦＲＢが積極的な金融緩和に動くとの見方から米ドルは大きく下落しました。８月中旬から９月下旬にかけては、８月の米雇用統計が市場予想を下回ったことなどから利下げ観測が強まり、下落基調で推移しました。10月上旬から11月中旬にかけては、９月の米雇用指標が市場予想を上回ったことや、米大統領選挙にてトランプ氏の当選が確実となったことからインフレ再燃への警戒感が高まり、米ドルは上昇しました。11月下旬には、投資ファンド経営者のベッセント氏が次期米財政長官に指名されたことを受け米長期金利が大幅に低下し、米ドルは下落しました。12月は、ＦＯＭＣで今後の利下げについて慎重な姿勢が示されたことから米ドルは上昇基調で推移しました。2025年１月には、2024年12月の米ＣＰＩが市場予想を下回り利下げ期待が高まったことなどから、米ドルは下落しました。

■ 国内短期金融市場

国庫短期証券３ヵ月物利回りは、作成期首の0.02％から作成期末は0.35％となりました。作成期中においては、日銀による追加利上げへの警戒感や国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

作成期を通じて、「ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」を概ね高位に組入れ、「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

■ ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）

主としてＵＢＳ　ＡＧ　ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、当該取引を通じて実質的に、ｉシェアーズ　米国不動産ＥＴＦと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果の享受を目指す運用を行いました。

■ Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド

国庫短期証券を60％程度組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

＊iShares®（ｉシェアーズ®）はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」について出資、発行、保証、販売および販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディングおよび販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

１万口当たりの分配金（税込み）は分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第143期から第148期まで各25円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、１万口当たり、税引前）

項目	第143期 2024年７月23日 ～2024年８月20日	第144期 2024年８月21日 ～2024年９月20日	第145期 2024年９月21日 ～2024年10月21日	第146期 2024年10月22日 ～2024年11月20日	第147期 2024年11月21日 ～2024年12月20日	第148期 2024年12月21日 ～2025年１月20日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	2.258	2.281	2.238	2.291	2.518	2.510
当期の収益	22	22	24	24	24	25
当期の収益以外	2	2	0	0	0	－
翌期繰越分配対象額	1,120	1,118	1,117	1,118	1,118	1,121

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

■ ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）

担保付スワップ取引を通じて、実質的にｉシェアーズ 米国不動産ＥＴＦへの投資と米国リートのコールオプションの売却を行い、安定した配当収入の確保と値上がり益の獲得を目指します。加えて、当クラスでは比較的短期の米ドル・円のコールオプションの売却も行い、為替オプション取引の投資成果も享受することを目指します。

■ Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は利上げに向けた姿勢を維持していくことが見込まれますが、依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

お 知 ら せ

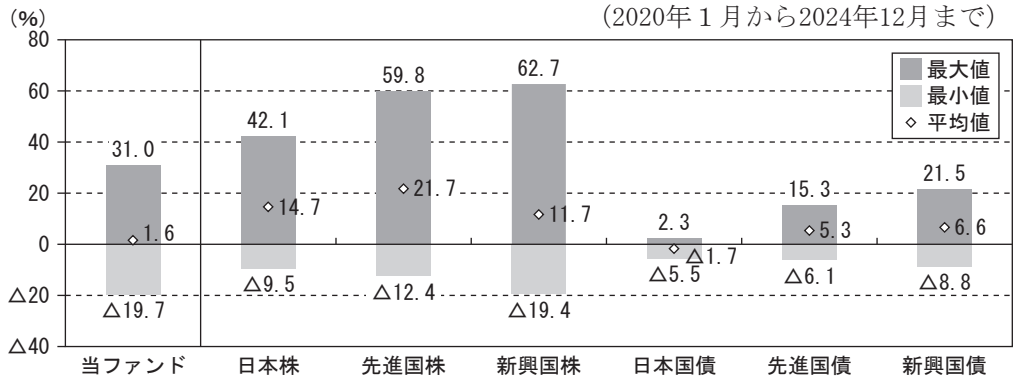
2024年10月７日適用で、スワップ取引のカウンターパーティの名称がクレディ・スイス・インターナショナルからＵＢＳ　ＡＧ　ロンドン支店へ変更となりました。

当 該 投 資 信 託 の 概 要

<table>
<tr><td>商　品　分　類</td><td colspan="2">追加型投信／海外／不動産投信（リート）</td></tr>
<tr><td>信　託　期　間</td><td colspan="2">2012年８月31日から2025年４月21日まで</td></tr>
<tr><td>運　用　方　針</td><td colspan="2">安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。</td></tr>
<tr><td>主要運用対象</td><td colspan="2">外国投資信託証券である「ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）」および親投資信託である「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。</td></tr>
<tr><td></td><td>ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）</td><td>主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、ｉシェアーズ米国不動産ＥＴＦと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。</td></tr>
<tr><td></td><td>Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド</td><td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td></tr>
<tr><td>組　入　制　限</td><td colspan="2">投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
株式への直接投資は行いません。
外貨建資産への直接投資は行いません。</td></tr>
<tr><td>分　配　方　針</td><td colspan="2">毎決算時（毎月20日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。</td></tr>
</table>

【 参 考 情 報 】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注）上記は、2020年１月から2024年12月の５年間の各月末における直近１年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
（注）当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指数

日本株・・・・東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）※1
先進国株・・・ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）※2
新興国株・・・ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）※3
日本国債・・・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債※4
先進国債・・・ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）※5
新興国債・・・ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）※6
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）とは、株式会社ＪＰＸ総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。ＴＯＰＩＸに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研に帰属します。
※2 ＭＳＣＩコクサイ・インデックスはＭＳＣＩが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※3 ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※4 ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるＴ&Ｄアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
※5 ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
※6 ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイドは、ＪＰモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はＪＰモルガン社に帰属します。

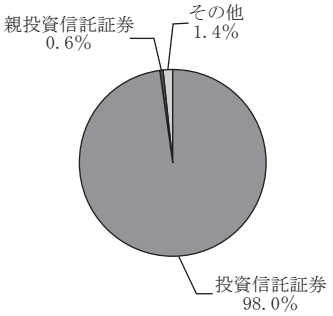
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

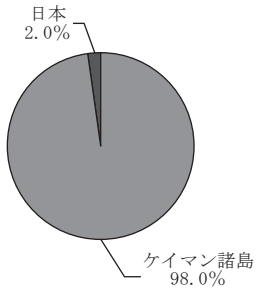
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	第148期末 2025年１月20日 比率
ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）	98.0%
Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド	0.6
その他	1.4

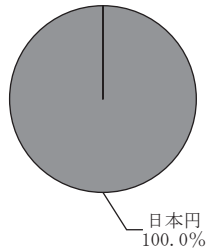
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



（注）組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

純資産等

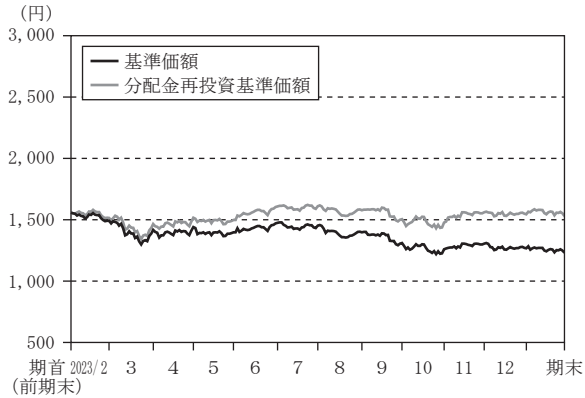
項目	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末
	2024年８月20日	2024年９月20日	2024年10月21日	2024年11月20日	2024年12月20日	2025年１月20日
純資産総額	2,903,755,043円	2,875,047,381円	2,898,321,073円	2,864,059,648円	2,559,802,688円	2,490,187,288円
受益権総口数	26,828,950,269口	26,840,194,268口	26,534,381,331口	26,861,946,461口	26,437,805,426口	25,637,131,681口
１万口当たり基準価額	1,082円	1,071円	1,092円	1,066円	968円	971円

（注）当作成期間（第143期～第148期）中における追加設定元本額は3,604,638,837円、同解約元本額は5,098,135,214円です。

組入上位ファンドの概要

ＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンド（通貨プレミアム・クラス）（2023年２月１日から2024年１月31日まで）

■ 基準価額の推移



（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年１月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下はＵＢＳユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ＵＳリート・プレミアムファンドの状況です。

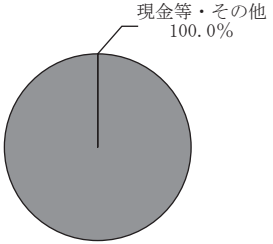
■ スワップ取引の状況

クラス	想定元本額	評価額	比率
円ヘッジ・クラス	1,949,738,055円	348,400,643円	10.1％
通貨プレミアム・クラス	25,225,279,518	3,104,021,096	89.9

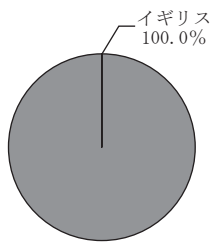
■ １口当たりの費用明細

１口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

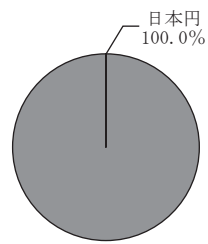
■ 資産別配分



■ 国別配分



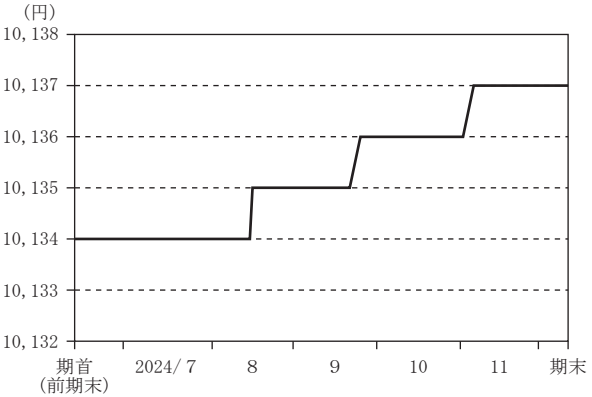
■ 通貨別配分



（注）スワップ取引の状況および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。
（注）スワップ取引の状況および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。
※スワップ取引および各配分はバンクオブニューヨークメロン証券およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド　(2024年６月11日から2024年12月10日まで)

■ 基準価額の推移



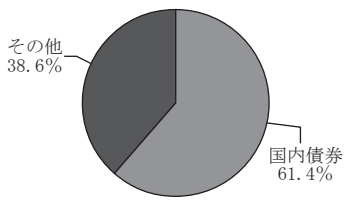
■ 組入銘柄　　(組入銘柄数：１銘柄)

銘柄名	種類	利率	償還日	比率
第1207回国庫短期証券	国債	－%	2025/1/20	61.4%

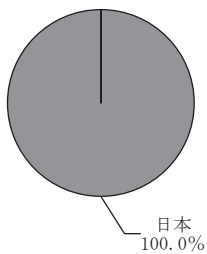
■ １万口当たりの費用明細

当期において発生した費用はありません。

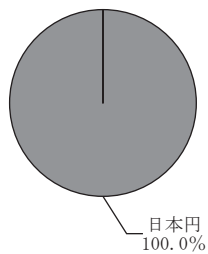
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。
(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。